

やすらぎ短信

令和6年
3月号

五節句、ひな祭り



三月三日は雛祭です。上巳(じょうし)の節句、桃の節句ともいい、五節句の一つであります。節句とは、奈良時代に中国から伝わった風習で、奇数が重なるめでたい日とされています。昔はたくさん節句がありましたが、現在、日本に残っている節句は、左記の五つです。

● 一月七日 人日(じんじつ)の節句

別名 七草の節句

● 三月三日 上巳(じょうし)の節句

別名 桃の節句

● 五月五日 端午(たんご)の節句

別名 菖蒲の節句

● 七月七日 七夕(しちせき)の節句

別名 笹竹の節句

● 九月九日 重陽(ちようよう)の節句
別名 菊の節句

このうち、一月七日は奇数が重なっておりませんが、元旦を迎える一月は、別格とされ、節句に取り入れられるようになりました。今月迎える上巳の節句は、雛人形を飾って家族でお祝いを致します。

この雛人形は、元々お祓いの行事に用いた草木や紙でつくった人形(ひとがた)であり、日常生活で犯してしまった罪(つみ)、穢(けが)れを人形に移して、川や海に流して不浄を祓うのがはじめです。この人形が次第に豪華になり、今のような雛飾りとなりました。近年では、住居の事情により、七段飾りを飾る家庭が少なくなりま

したが、家族で子ども幸せや健康を願ってお祝いする風習はしっかりと受け継がれております。



ひな祭りの食べ物

◆ ちらし寿司



エビは長寿、レンコンは先を見通す、豆はマメに働くといった縁起の良い具材が使われます。

◆ 蛤のお吸い物



蛤は二枚の貝殻がピッタリと合い、他の貝殻とは絶対に合わないことから縁結びの意味があります。

◆ ひし餅



三色の餅は、赤は魔除け、白は清浄、緑は健康長寿を意味します。

◆ 白酒



もとは、桃の花を酒に漬けた「桃白酒」。桃は邪気を祓い、百歳(ももとせ)の意味から長寿を意味します。

春分の日・お彼岸



春分の日、昭和二十三年の「国民の祝日に関する法律」の制定当初に定められた「国民の祝日」の一つであり、「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日とされています。この日は、昼と夜の長さがほぼ等しくなり、真東から昇った太陽が真西に沈む日であります。この日の中日（ちゅうにち）といい、この日の前後三日間、計七日間を彼岸（ひがし）とい

ます。なぜ、この期間に先祖供養をするのかといいますと、ご先祖様がいらつしやる世界が西に位置し、私たちの住んでいる世界が東に位置すると考えられていることから、太陽が真東から昇り、真西に沈む春分の日、ご先祖様の方角をしっかりと向いてお祈りできる好日とされ、ご先祖様への祈りが伝わりやすい日と考えられてきました。また、この時

期は、農作業の種まきの時期でもあり、土地を守り後世に残してくれたご先祖様に感謝して供養してきた日本古来の信仰もあります。この日、宮中でも春季皇霊祭と春季神殿祭が行われ、歴代天皇と天地の神々に神恩感謝を捧げる祭典が行われます。日本古来の教えでもある、神様を敬い、ご先祖様を崇める「敬神崇祖」（けいしんすうそ）、の念をこれからも大切にしていきたいです。

春の社日祭（しゃにちさい）

社日とは、春分の日、秋

分の日それぞれ最も近い戊（つちのえ）の日を指します。社日祭では土地の神様・農耕の神様に五穀豊穡と農作業の安全を



祈願致します。当社では、境内社である伏見稻荷神社の横に建立されている社日碑二基の前で、帯富・千歳の氏子等が参集し、春の社日祭を斎行し、今年の豊作と農作業の安全をお祈り致します。

車のお祓いのご案内

お車のご購入に際し、「車のお祓い」のご祈祷を受付けております。ハンドルを握るといことは、自分を含め同乗者の「命」も預かるということです。初心に帰り、御神前で祈願することで、新たに交通安全の志を高めましょう。当社では一年中、新車、中古車を問わず、お祓いのご予約を受付けております。大型・特殊車両のお祓いの場合は、神主が出張致します。

玉串料 一万円・五千円・三千円より



発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町宇東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八